



さかど

# 市議会だより

№.168

令和5年5月1日発行

**P 2** 第1回3月定例会 令和5年度予算は322億5,700万円に

**P 10** 一般質問 8議員が市政を問う

**P 14** 議会報告会を動画で配信します

写真：秋の実りが楽しみな田園風景(入西) 市民カメラマン 宮本幸子さん撮影

本会議の様子を  
配信しています



# 第1回3月定例会

(2月20日～3月15日・24日間)

この定例会では、市長から27議案が提出され、慎重に審議した結果、すべての議案を原案のとおり可決及び同意しました。  
また、議員から提出された1議案についても、原案のとおり可決しました。

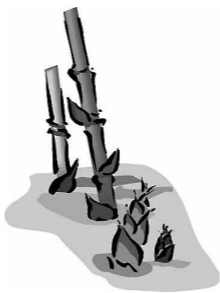
**令和5年度一般会計予算は、  
322億5700万円(前年度対比4.0%増)**

【市長の提案理由説明から抜粋】

## ◆一般会計予算

施政方針に基づき、各種施策を着実に実行するための予算で、歳入歳出予算の総額は322億5700万円(前年度対比12億5500万円、4.0%増)です。

予算編成に当たっては、社会環境の変化や多様化するニーズを的確に把握し、迅速かつ柔軟に対応するとともに、地方財政の厳しい状況を踏まえ、歳入歳出両面の見直しを進めました。



※一般会計…行政運営の基本的な経費を経理する会計。

## ◆特別会計予算

〔石井土地区画整理事業〕  
歳入歳出予算の総額は3億8129万9千円、歳出の主な内容は、道路等の築造工事費、物件移転に伴う補償料等です。  
〔坂戸中央2日の出町土地区画整理事業〕

歳入歳出予算の総額は2264万2千円、歳出の主な内容は、地方債の償還等に要する経費です。

### 〔片柳土地区画整理事業〕

歳入歳出予算の総額は9億8821万7千円、歳出の主な内容は、道路等の築造工事費、物件移転に伴う補償料等です。

※特別会計…特定の事業を行うために、一般会計と区別して経理する会計。

〔関間四丁目土地区画整理事業〕  
歳入歳出予算の総額は1億4812万4千円、歳出の主な内容は、道路等の築造工事費、物件移転に伴う補償料等です。

### 〔国民健康保険〕

歳入歳出予算の総額は9億5900万円、歳出の主な内容は、保険給付費等です。

### 〔介護保険〕

歳入歳出予算の総額は73億3519万6千円、歳出の主な内容は、保険給付費等です。

### 〔後期高齢者医療〕

歳入歳出予算の総額は15億9488万3千円、歳出の主な内容は、後期高齢者医療広域連合納付金等です。

### 〔公平委員会〕

歳入歳出予算の総額は49万5千円、歳出の主な内容は、委員会の運営に要する経費です。



## 3月定例会日程

- 2月20日(開会)
- 市長提出議案の上程、提案説明
- 人事案件の上程、提案説明
- 2月24日
- 議案に対する質疑(総括質疑)
- 予算決算常任委員会
- 2月28日
- 総務文教常任委員会
- 予算決算 総務文教分科会
- 3月1日
- 市民福祉常任委員会
- 予算決算 市民福祉分科会
- 3月2日
- 環境都市常任委員会
- 予算決算 環境都市分科会
- 3月7・8・9日
- 市政一般質問
- 3月10日
- 予算決算常任委員会
- 予算決算 環境都市分科会
- 3月15日(閉会)
- 市長提出議案の討論、採決
- 人事案件の討論、採決
- 議員提出議案の上程、採決

# 令和5年度一般会計予算

## ◆主な事業

安心して子育てができ、みんなが活躍できるまちづくり	○学校給食費補助事業 ○公私連携型保育所推進事業	3億5,882万円 5億650万円
互いを認め合い、健康で心豊かに暮らせるまちづくり	○予防接種実施事業 ○市民総合運動公園管理事業	2億6,015万3千円 1億2,946万9千円
誰もが安心して、安全に暮らせるまちづくり	○交通安全対策推進事業 ○安全で安心なまちづくり推進事業	2,028万円 6,041万8千円
自然と都市が調和し、活気あふれる暮らしやすいまちづくり	○土地利用研究事業 ○地球温暖化対策事業	540万6千円 884万円
市民とともにつくる、みんなが輝く誇れるまちづくり	○パソコン等管理運用事業 ○シティプロモーション推進事業	1億8,658万7千円 205万円

## 主な総括質疑

〔工事請負契約の締結について(坂戸市立住吉中学校校舎外壁等改修工事関係)〕

○本工事の入札では、16事業者中7者が同一価格、1者はそれを上回る価格、6者は最低制限価格未満のため失格、2者が辞退であり、同一価格の7者のうち1者がくじにより落札候補者となった。7者が同一価格となった理由は、

最低制限価格は、異常な低落札を未然に防止し、確実な履行の確保を図るため、平成13年8月に導入し、建設工事では設計額130万円以上の全ての案件について運用基準を定めて適用している。工事に係る最低制限価格の計算方法は、設計によって算出した直接工事費に0.97を乗じたもの、共通仮設費に0.9を乗じたもの、現場管理費に0.9を乗じたもの及び一般管理費に0.68を乗じたものを合計し、そこに消費税相当額を加算する。この計算の結果、

その額が予定価格の92%を超える場合は予定価格に92%を乗じて得た額とし、予定価格の75%に満たない場合には予定価格に75%を乗じて得た額としている。本工事の最低制限価格の計算値は92%を超えたため、最低制限価格を92%で設定した。今回、開札したところ、92%の額で応札してきた7者が同一価格となったものである。

〔令和4年度坂戸市一般会計補正予算(第7号)を定める件〕

物価高騰対策地域経済支援事業における補正予算の内容は、新型コロナウイルス感染症及びエネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けている市内事業者や消費者を支援し、地域経済の活性化を図るとともに、非接触型のキャッシュレス決済の普及を促進することを目的に、本年1月にキャッシュレス決済ポイント還元キャンペーンを実施した。しかし、依然として物価高騰が続いているため、補正予算を計上し、4年度に引き続き5年度も繰越して事業を実施するものである。

〈令和5年度坂戸市一般会計予算を定める件〉

問 小・中学校の給食費について、新型コロナウイルス感染症の感染拡大以降、本市では国の交付金を活用し、期間限定で無償化を実施してきた。5年度は交付金が交付されるかどうかには関係なく、市独自の予算で無償化を実施することだが、6年度以降の小・中学校給食費無償化事業の財源はどうするか。

答 決算剰余金や事業の見直しによる不用額などを財政調整基金に積み立て、基金からの取崩しを含め、一般財源で対応していく予定であるが、国や県からの補助金等の動向を注視し、充当できる財源があった場合には、特定財源を活用する予定である。



問 子育て支援について、伴走型相談支援を充実させるために伴走型相談支援員を1名増員し、面談を実施していくとのことだが、伴走型相談支援の面談の内容は。

答 妊娠届出時に、全ての方に面談を実施し、妊娠期の過ごし方や出産に向けての情報提供を行うことに加え、新たな取組として、妊娠8箇月頃に郵送によるアンケートを実施し、希望者に面談を行う。出産後には、生後3箇月までの間に家庭訪問し、面談の中で新たに作成した子育てガイドを使用して今後の子育てのイメージができるよう支援するとともに、各種サービスの情報提供を行う。また、支援が必要な方を産後ケア事業へつなげるなど、安心して妊娠、出産、子育てに臨んでいただけるよう、一貫して支援を行っていく。

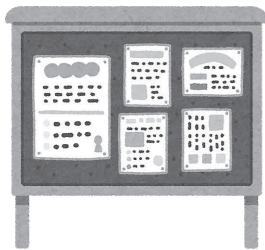
常任委員会

審査概要

予算決算

〈付託議案第12・19号〉

問 区・自治会の集会所等に設置されている広報掲示板の新規設置、移設、撤去に係る予算の全額を減額補正することである。区・自治会長からの要望を受けて予算計上していたと理解しているが、区・自治会長へどのように周知をしているのか。



答 年度当初の区長会定期総会の区・自治会長用資料に掲載し、広報掲示板の新規設置希望がある場合や、既設のものに損傷等が発生した場合には、広報広聴課へ連絡をいただくようお願いしている。

問 法人市民税の納税義務者数の今後の見込は。

答 ウクライナ情勢の動向などにより左右され、不透明な部分もあるが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に係る行動制限が緩和され、経済活動の回復が見込まれること、西インター地区において新たな大型物流倉

問 県では、埼玉版スーパー・シティプロジェクトを掲げ、将来に向けた超少子高齢社会に適応したまちづくりを進める市町村を募集しており、コンパクト（魅力的な拠点）、スマート（先進的な共助）、レジリエント（持続可能な地域）の3つの要素全てを含む、地域特性に応じたまちづくりを支援している。北坂戸地区まち・くらし再生事業では、県の取組を考慮していくのか。

答 北坂戸地区まち・くらし再生事業は、都市機能の集積を目的の一つとしており、「コンパクト」という要素には合致していると認識している。しかし、「スマート」及び「レジリエント」に関する具体的な事業は未定であり、現状では、埼玉版スーパー・シティプロジェクトの3つの要件全てを満たしていない状況である。北坂戸地区まち・くらし再生事業では、現在、事業者から情報を収集するなど、当該地区にふさわしい事業の推進に向けて積極的に検討を進めているところであり、埼玉版スーパー・シティプロジェクトにエ

問 北坂戸団地にぎわい再生事業では、北坂戸にぎわいサロンの運営等に大学生の持つ潜在的な力をもっと役立ててもらいたい、市の考えは。

答 市の事業や地域行事などにおいても、大学生など若い人が関わることで活性化が図られ、より幅広い世代が楽しめるなど、多くの効果が期待できる。そのため、北坂戸にぎわいサロンが一つの起点となり、大学や大学生の関わる機会が増大すること、にぎわいを創出していく効果が高まることを期待できると考える。

問 城西大学のプールを借用し、大家小学校の水泳授業を行う予定とのことだが、期待される効果は。

答 室内温水プールのため、天候等に左右されずに計画的に授業が行える。また、城西大学から派遣される指導者から毎時間授業支援を受けることで、質の高い授業が展開できると考える。教職員の負担軽減にもつながり、教職員が児童と向き合う時間の増加も期待している。



ントリーできるように努めている。

問 5年度の当初予算編成において、第7次坂戸市総合計画の将来像である「住みつけたいまち 子育てしたいまち さかど」の実現に向けた各種事業を予算化するために生じた不足分の19億円を、財政調整基金から取り崩すとのことであるが、今後の財政調整基金の残高の見込みは。

答 今後の予算の執行状況により残高見込みは増減するが、中期の財政計画で設定している目標値は40億円としているので、不測の事態に迅速に対応できる財政基盤を確立するため、財政調整基金への積立てを行っていくとともに、限られた財源の中で効率的な財政運営を推進していく。



傍聴方法が変更になりました

- 傍聴席は指定席となります。
- 傍聴受付は、市役所3階の議場入り口（議会事務局執務室側）になります。
- 一般質問の時のみ、午前と午後で分けて傍聴券を交付します。（午前と午後で傍聴券の色分けをします。）

※傍聴方法は変更になる可能性があります。詳細は坂戸市議会ホームページやお電話にてご確認ください。

議会傍聴について

6月定例会は  
5月31日開会の予定です。



※変更の可能性等もありますので必ずお電話等でご確認願います。

**問** 5年度のいじめ、不登校に対する取組は。

**答** 本市独自の取組として、小学校へのさわやか相談員の配置や、学校法律相談等業務を委託している弁護士による研修等を行っている。5年度もこれらの対策を継続していく。また、授業の改善をはじめ各学校の教育活動を充実させ、子ども同士がよりつながることで、いじめや不登校の対策につなげていく。

**問** 学校給食費補助金により、学校給食費の継続的な無償化を実施していくとのことだが、県内自治体での無償化の実施状況は。

**答** 一定期間の学校給食費無償化については、既に実施している本市も含めて多数の自治体が無償化を実施しているが、継続的な無償化を実施している自治体は、4年9月現在で滑川町、小鹿野町、神川町、美里町及び東秩父村の4町1村である。



**問** 資源缶、瓶の仕分作業について、5年度から業務委託ではなく市の直営で行うとのことだが、直営で行う場合、どのくらいの処理ができるのか。

**答** 資源缶、瓶の搬入量は、毎週約16・8トである。東清掃センターの粗大ごみ処理施設では、週1日の仕分作業で対応可能である。また、現在、粗大ごみ及び燃やさないごみの破碎処理作業は、週5日のうち3日実施している状況であるため、搬入量全量の処理が十分可能である。

**問** 元町地内と片柳地内の市民農園が閉園されたが、その後の状況は。

**答** 元町地内と片柳地内の市民農園の閉園に伴い、新規の市民農園の募集を行うなどの調整を

**問** 児童虐待防止事業において新たに配置する虐待対応専門員の職務内容は。

**答** 児童虐待や養育が困難な家庭の保護者との面談、家庭訪問や関係機関との調整をはじめ、警察や児童相談所などからの照会業務を予定している。

**問** 民生委員の欠員が生じているとのことだが、市の対応は。

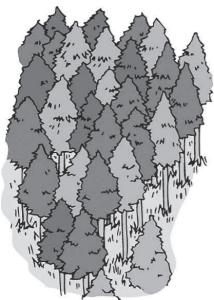
**答** 昨年12月の一斉改選に伴い生じた欠員地区の区・自治会長へ改めて依頼したところ、2地区から候補者の推薦をいただき、4月1日付けで追加委嘱されることとなった。今後も、継続的に区・自治会長へ文書、電話及び訪問等により、民生委員制度に関する説明や候補者の推薦依頼を行うなど、欠員地区を減少させるための取組を進めていきたい。



進めたところ、5年度から新たに石井地内と小沼地内の2箇所開設できることとなった。

**問** 城山小学校区の学童保育所の整備に係る工事が安価でできたため、森林環境譲与税の充当が不要になったとのことである。森林環境譲与税を充当して行う事業として、本市ではどのような事業が考えられるのか。

**答** 森林環境譲与税の使途は、森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律第34条に規定されている。その中で、本市で活用が見込める項目としては、4年度に実施している保育園での木製椅子の購入、今後想定される保育園、小・中学校の木質化など、木材の利用促進としての活用を中心に、そのほか同じく4年度に実施している城山の森の整備など、森林の整備としての活用等が考えられる。



**問** 交通指導員が不足しているとのことだが、応募条件を変更する考えは。

**答** 交通指導員の応募条件は、3年4月から年齢の上限を65歳未満から70歳未満へ引き上げ、4年4月からは報酬を通常指導1回1600円から2千円に引き上げた。今後も、応募条件の変更については、近隣の状況等を見ながら必要に応じて検討していきたい。

**問** 公民館の地域交流センター化推進事業における、地域交流センター化協議会の委員の構成は。

**答** 坂戸市地域交流センター化協議会は、関係団体の代表者、公募に応じた市民、学識経験者及びその他市長が必要と認める者のうちから15人以内で組織すると定めている。委員の構成は、関係団体の代表者として、区長会、自主防犯組織連絡協議会、民生委員児童委員協議会連合会、老人クラブ連合会、PTA連合会、公民館推進員、公民館定期利用団体、高齢者生活支援関係団体、体育協会、企業代表、NPO代表の11名、学識経験者と



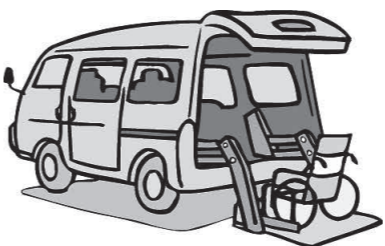
**問** 北坂戸地区まちづくり推進事業では、溝端公園に多世代交流拠点を整備することが検討されている。溝端公園が指定緊急避難場所でなくなってしまうと北坂戸団地の方々が緊急的に集まる場所がなくなり、地域防災は大きく後退してしまうのではないか。

**答** 溝端公園へは、北坂戸公民館の移転を考えている。北坂戸公民館は、地域防災拠点及び救助所に位置付けられており、移転後もその位置付けを引き継ぐものとする。また、新たに立地する民間施設については、地域防災に関して市との連携を図ることを要件の一つとして検討しており、災害時の一時受入れや食料支援などが期待できる。これらのことから、溝端公園周辺の防災機能は、維持、向上が図られると考えている。

して、地域づくりに関わっている2名、そして、公募により選定された1名の計14名となっている。

**問** 福祉タクシー利用券の利用可能枚数を、1回の乗車につき1枚から2枚に増やすこととした経緯は。

**答** 福祉タクシー制度の円滑な運営と障害者の社会参加の促進を目的に、県及び県内市町村、タクシー事業者等で構成される福祉タクシー運営協議会において、利用者サービス向上のため、本年4月からタクシー乗車1回につきタクシー利用券を最大2枚まで利用できるようにする制度改正が行われた。このことを踏まえ、本市でも、障害者福祉の増進の観点から、同様の制度改正を行うこととした。



政治家が運動会やスポーツ大会へ飲食物等を差し入れることはできません。



### 虚礼廃止に関する決議について

政治家が選挙区内の人や団体にお金や物を贈ることは禁止されています。また、政治家に対し寄附を求められています。本市議会では「虚礼廃止に関する決議」を行い政治浄化に取り組んでいますのでご理解ください。

# 提出議案とその結果

(令和5年3月定例会)

## 全会一致の議案

議案番号	議案名	議案番号	議案名
第1号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定の件	第15号	令和4年度坂戸市坂戸都市計画事業関間四丁目土地画整理事業特別会計補正予算(第1号)を定める件
第2号	坂戸市手数料条例の一部を改正する条例制定の件	第16号	令和4年度坂戸市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)を定める件
第3号	坂戸市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定の件	第17号	令和4年度坂戸市介護保険特別会計補正予算(第2号)を定める件
第4号	坂戸市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定の件	第18号	令和4年度坂戸市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)を定める件
第5号	坂戸市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定の件	第19号	令和5年度坂戸市一般会計予算を定める件
第6号	坂戸市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定の件	第20号	令和5年度坂戸市坂戸都市計画事業石井土地画整理事業特別会計予算を定める件
第7号	坂戸都市計画事業石井土地画整理事業施行条例等の一部を改正する条例制定の件	第21号	令和5年度坂戸市坂戸都市計画事業坂戸中央2日の出町土地画整理事業特別会計予算を定める件
第8号	坂戸市監査委員の選任について	第22号	令和5年度坂戸市坂戸都市計画事業片柳土地画整理事業特別会計予算を定める件
第9号	坂戸市教育委員会委員の任命について	第23号	令和5年度坂戸市坂戸都市計画事業関間四丁目土地画整理事業特別会計予算を定める件
第10号	坂戸市農業委員会委員の任命について	第24号	令和5年度坂戸市国民健康保険特別会計予算を定める件
第11号	工事請負契約の締結について(坂戸市立住吉中学校校舎外壁等改修工事関係)	第25号	令和5年度坂戸市介護保険特別会計予算を定める件
第12号	令和4年度坂戸市一般会計補正予算(第7号)を定める件	第26号	令和5年度坂戸市後期高齢者医療特別会計予算を定める件
第13号	令和4年度坂戸市坂戸都市計画事業石井土地画整理事業特別会計補正予算(第1号)を定める件	第27号	令和5年度坂戸市、鶴ヶ島市外三組合公平委員会特別会計予算を定める件
第14号	令和4年度坂戸市坂戸都市計画事業片柳土地画整理事業特別会計補正予算(第1号)を定める件	議員提出第1号	坂戸市議会の個人情報の保護に関する条例制定の件

## 賛否の分かれた議案

○ 賛成  
× 反対

議案番号	議案名	会派名						
		民政クラブ	公明党	日本共産党	立憲民主・市民の会	みらい	さかど新政会	無党派
—	※今回は該当する議案はありませんでした。	(4人)	(3人)	(3人)	(3人)	(2人)	(2人)	(1人)

(令和5年3月15日現在)

民政クラブ				公明党			日本共産党			立憲民主・市民の会			みらい		さかど新政会		無党派	
加藤則夫	石井寛	森田文明	友田雅明	古内秀宣	柴田文子	野沢聖子	新井文雄	鈴木友之	宮坂裕之	武井誠	弓削勇人	中村拓史	小澤弘	田中栄	飯田恵	猪俣直行	平瀬敬久	(藤野登)

( )は議長

## 総務文教

〈付託議案第11・27号〉

**問** 住吉中学校校舎外壁等改修工事の落札予定者である株式会社島村工業の建築工事の実績は。  
**答** 3年度には、埼玉県発注の県営上尾シラコバト団地第1工区の建築工事や、上尾市発注の(仮称)子ども・子育て支援複合施設の建築工事など、多くの工事を履行している。

## 市民福祉

〈付託議案第1・3・4・5・6・16・17・18・24・25・26号〉

**問** 5年度の国民健康保険特別会計予算について、4年度の予算と比較して大きく変わった点は。  
**答** 産科医療補償制度の掛金を含めた出産育児一時金の支給額を42万円から50万円に引き上げる点と、国民健康保険税の賦課限度額を総計で99万円から102万円に引き上げる点である。

## 環境都市

〈付託議案第2・7・13・14・15・20・21・22・23号〉

**問** 低炭素建築物新築等計画の認定を受けることにより、どのようなメリットがあるのか。  
**答** 住宅ローン減税などの税制優遇を受けることができることのほか、認定を受けた住宅であることにより、国の個別補助の利用が可能になることなどがある。

**問** 5年度から区画整理事務所を本庁へ移転することだが、その目的は。  
**答** 近年、土木分野の技術職員の減少により、指導や育成を通して経験値を高めることが難しいという課題が生じている。事務所を本庁に移すことで、都市整備部内の各課との連携を強化し、組織の横断的な指導、育成、職員相互の情報交換等の促進を図ること、また、施設の維持管理費の削減を図ることを目的としている。

## 監査委員に

野村康さん

野村康監査委員の任期が5年3月31日で満了となるため、引き続き野村康さんを選任することについて同意を求める提案がありました。議会では、全会一致で原案のとおり選任することに同意しました。

## 教育委員会委員に

小川一信さん

小川一信教育委員会委員の任期が5年3月31日で満了となるため、引き続き小川一信さんを任命することについて同意を求める提案がありました。議会では、全会一致で原案のとおり任命することに同意しました。

## 農業委員会委員に

小川邦雄さん

農業委員会委員に欠員が生じたことに伴い、小川邦雄さんを任命することについて同意を求める提案がありました。議会では、全会一致で原案のとおり任命することに同意しました。

## 議員提出議案

議員提出議案第1号

坂戸市議会の個人情報の保護に関する条例制定の件  
 デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律による個人情報の保護に関する法律の一部改正を踏まえ、坂戸市議会における個人情報の適正な取扱いに関する必要な事項等を定めるため、条例の制定を行った。



小澤 弘

**問** 太田教育長の教育方針について。

**答** 第7次坂戸市総合計画の将来像「住みつけたいまち 子育てしたいまち さかど」を念頭に置き、教育大綱の柱である「学び合い交流する人づくりのまち」を目指し、最善の努力をしていきたいと考えている。本市の教育では、特に、「人を大切にする教育、誠実・丁寧な教育」を行っていく。

**問** 教育長が考える本市教育行政への取組については。

**答** 本市教育行政の更なる進展のため、職員の創意工夫と市長部局との連携を深め、与えられた責務の完遂に向け努力していく。

**問** 児童生徒は、先生方の熱心さで違いが出ると思う。熱心さのあまり児童生徒を叱って指導するのではなく、褒めて指導することが重要と考えるが、教育長の考えは。

**答** 教師が児童一人一人を認め

て・褒めて・伸ばす指導を行うためには、話をよく聴くこと、一人一人をよく観察すること、その子に合わせた指導・支援を行うことが重要と考えている。

小・中学校の樹木について

**問** 本市の小・中学校の桜の木は、ほとんどが運動場の周りに植えられていることから、周りの住宅や道路にはみ出して苦情があり剪定したと思われるが、今後の樹木については、桜ではなく低木や中木に替えていく考えは。

**答** 学校における高木の必要性、安全性及び樹木の維持管理面から、低木、中木を多くしていくことについて、今後検討していく。



鈴木 友之

のことである。

**問** 2年6月定例会における私の一般質問で「防災担当部局と連携を図りながら環境整備に努めていく」との答弁がされてから、現時点まで具体的に何も進んでいない。まず、関係する部署が連携・協力することが不可欠である。災害対応に向けた公共施設の今後の環境整備の考えは。

**答** 今後の環境整備については、施設状況や構造に応じた効果の検証等を踏まえ、防災担当部局と連携を図りながら、調査研究していきたい。



屋内運動場

**問** 屋内運動場の空調設備の整備については、子どもたちの熱中症対策に加えて避難所の環境改善にもつながる重要な問題と考える。災害対応を見据えた屋内運動場の現在の環境整備は。

**答** 小・中学校の屋内運動場は、18施設あり、築年数は、16施設が40年以上、残りの2施設が築37年、築31年と老朽化が進み、今後、大規模な改修工事や改築が必要な状況である。

**問** 屋内運動場における西部11市のエアコンの設置状況は。

**答** ふじみ野市は小・中学校へ設置が完了し、富士見市、鶴ヶ島市が順次設置を進めている。狭山市、入間市は、新設した屋内運動場に設置をしている。

**問** 自治体の規模が近い、鶴ヶ島市でも屋内運動場へのエアコンの設置が進められているが、鶴ヶ島市の整備内容は。

**答** 鶴ヶ島市の整備内容は、中学校5校に、4年度から6年度までの3年間で整備する計画と

水害対策について

森田 文明

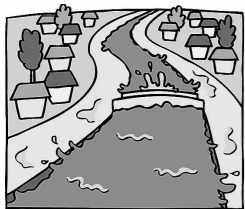
**問** 入間川流域緊急治水対策プロジェクトの進捗状況は。

**答** 本年2月に、地権者など関係者を対象に国による（仮称）越辺川遊水地整備等に関する説明会が、また、県による葛川及び飯盛川の越辺川合流点の調節池整備等に関する説明会がそれぞれ開催された。

**問** プロジェクトの事業が円滑に進捗するために、本市としてどのような取り組みでいくのか。

**答** 水害などから、市民の生命や財産を守る使命があることから、事業推進のため、国・県などと連携を図っていく。

**問** プロジェクトが完了するまで一層の対策強化が必要である。特に、葛川と飯盛川の流域地区は令和元年東日本台風の際、水門等が閉門されたことにより水が滞留し家屋等の浸水被害が発生した。水門等が閉門された段階で地域住民に浸水の危険が迫っていることを周知することが重要である。その手段として浸



水想定区域内の防災無線放送塔に赤色回転灯を設置し、水門等閉門時に点灯させて地域住民に危険を知らせる体制を整えてはどうか。

**答** 他の事例の調査等を行い、防災無線放送塔を含めた設置場所や回転灯の色などについて、河川管理者等の協力も得ながら検討したい。

**問** 市民の避難場所について、災害の規模や避難者数によっては公共施設だけで対応するにも限界がある。坂戸西スマートーC周辺の大型物流施設について企業の理解を得て、災害発生時に避難場所として提供していただくよう協力を依頼してはどうか。

**答** 災害時に地域の方が避難できるよう、事業主である企業と協定締結に向け協議を進めたい。

AYA（思春期・若年成人）世代の支援

古内 秀宣

**問** AYA世代のがんの現状は。

**答** AYA世代は、多くの人にあって、生活の中心が家庭や学校から社会全体での活動に移行していき、親からの自立など大きな転換を迎えるとともに、就学、就労、結婚、出産及び育児といった時期であり、がんにかかることで経済的な負担の増加等、様々な影響を及ぼすとされている。この世代では、1年間にがんと診断される方は約2万人と推計され、病気による死亡原因の中では、がんが最も多い。

**問** 県の支援実施状況は。

**答** 埼玉県がんサポートハンドブックを発行し、県民に対して広く周知している。助成制度としては、妊孕性温存療法等への助成事業が行われている。5年度の新規事業として、終末期患者への在宅医療体制整備を行う予定であるとのことである。

**問** 本市における現状の取組はないということだが、早期にできる取組は。



※妊孕性温存療法…がんなどの治療の影響によって生殖機能が損なわれることがあるため、精子、卵子等を凍結保存して、不妊に対処する治療。

一般質問の詳細は、ホームページでご覧いただけます

一般質問

問 4年7月12日から13日早朝にかけて、短時間で局所的に大雨が降り、本市では、排水機場や排水ポンプ車が稼働したが、内水処理が間に合わず被害が発生した。市内の被害状況は。

答 人的被害は、8名を救出したほか、住家の床下浸水が9件、非住家の床下浸水が2件、非住家の床下浸水が8件あった。道路等では、木橋を含め、道路の通行止めを19箇所実施した。

問 大谷川雨水ポンプ場及び飯盛川排水機場の稼働状況は。

答 大谷川では、12日午後10時39分にポンプを稼働し、13日午前7時40分に停止した。飯盛川では、12日午後10時56分にポンプを稼働し、13日午前5時12分に停止した。

問 雨水が一気に流れると勝呂耕地や三芳野耕地などの低い所に負荷がかかり、排水機場を整備しているが、全ての大雨に対応するには限界がある。市街地の大規模な開発行為における雨

水の流出抑制方策は。

答 1畝以上の開発行為等は、県の条例に基づき許可が必要となり、雨水を一時的に貯留するための調整池等の設置が義務付けられている。

問 準用河川谷治川の上流地域では、12日の夜に乗用車の浸水被害が発生したと聞かすが、近隣の「さかえ池」の今後の整備は。

答 埋め立てて宅地とする計画だが、周辺における排水の課題もあり検討していきたい。

問 7月の大雨では、ポンプが稼働したが、東坂戸で床下浸水の発生した。大谷川雨水ポンプ場のポンプ増設の完成時期は。

答 坂戸、鶴ヶ島下水道組合によると、社会情勢の影響で、4年度から5年度へ変更予定とのことである。



問 地域交流センター化の現状は。

答 坂戸市地域交流センター化基本計画(案)を策定した。本年4月には市民コメント、地区別説明会を行う予定である。

問 地区別説明会は平日のみの開催予定だが、参加できない市民への配慮はないのか。

答 開始時刻等に関し配慮する。昨年行った市民アンケートの設問には、交流センター化に対し「賛成」の選択肢はあるが「反対」の選択肢はなかった。

問 「反対」という表記は使用していないが、「その他」の選択肢及び自由意見欄を設けた。

問 交流センター化により利用料金の改定が発生するのか。

答 入西地域交流センターの料金を基本に考えている。

問 交流センター化による利用目的緩和で貸館としての利用が増え、これまでの利用者が利用しにくくなる可能性はないか。



答 地域の拠点施設として多くの方々が利用できるよう努める。

問 老朽化している公民館もあるが、交流センター化に当たり、建て替えを行う考えはないか。

答 坂戸市公共施設長寿命化計画に基づき維持管理していく。

問 坂戸市地域交流センター化協議会で提案のあった、予約なしに自由に使えるフリースペースを建屋改修し設置する考えは。

答 施設改修を伴う設置の予定はない。

利用しやすいホームページ

問 ホームページを開いているが、必要な情報を探せないという市民へ対応する電話窓口は。

答 トップページに市の代表番号を、各ページに内線番号を記載し、担当部署で案内している。

一般質問 原稿は質問者本人が執筆したものですので、あらかじめご了承ください

支え合い、安心して暮らせるまちづくり

問 不安や困難を抱える高齢者等への、日常生活を支える在宅福祉事業の利用状況は。

答 買い物やごみ出し等の身近な生活課題におけるニーズが高まる傾向にあり、在宅福祉事業の利用者も増加している。

問 住民によって住民を支援する団体による、生活支援サービスの活動状況は。

答 買い物や受診の支援等の訪問型サービスが8団体、通いの場を提供しレクリエーションなどを行う通所型サービスが2団体、合計10団体が活動している。

問 児童生徒を対象にした認知症サポーター養成講座等の学習を進めることは、高齢者への理解とともに思いやりの心を育成する観点からも有効と考えるが。

答 体験的な活動を通じて福祉教育を進めていくことの意義は極めて大きいものと考えている。

問 高齢者こそデジタルの恩恵を受けるべきと感じている。パソコン等の活用に向けた、具体



的な支援については。

答 昨年12月に筑波大学附属坂戸高校を会場とし、スマホ講座を実施した。高校生から個別指導を受け、大変好評であった。

問 高齢者が、高齢者を支える活動を行った場合に付与される「介護支援ボランティアポイント」の創設は有効と考えるが。

答 介護予防につながることから、導入自治体の運用状況を参考にし、取組を検討する。

問 みんなが主役となる地域共生社会の実現に向けた考えは。

答 生活に身近な地域において、デジタル技術の活用を含む、支え合いの仕組みづくりを構築し地域福祉の推進に努め、坂戸市地域福祉計画の基本理念の実現を図ることで、地域共生社会の実現を目指したい。

認知症対策について

問 認知症高齢者の現状と認知症対策は。

答 本市の高齢化率は30%台に突入している。4年10月1日時点の独居高齢者数は7821人、高齢者のみの世帯は6313世帯、日常生活に支障が出てくる

とされる日常生活自立度Ⅱ以上の認知症高齢者は2003人である。第8期坂戸市高齢者福祉計画・介護保険事業計画に基づき様々な取組を実施している。

問 計画での認知症施策は。

答 「共生」、「予防」を基本施策とし、「認知症の普及啓発、予防と早期発見」、「認知症高齢者のケアと介護者に対する支援」、「高齢者虐待の防止と成年後見

制度的な推進」の3つを掲げ、具体的な事業を位置付けている。

問 事故補償制度、付添者の市民バス乗車割引制度の導入は。

答 導入自治体や他自治体の動向等を踏まえ、研究していく。



問 本人の異変に気付いた身近な方からの相談により、認知症当事者を把握し、訪問等の支援につなげている。家族、近隣住民、介護事業者、その他見守りネットワーク団体とも連携を図りながら認知症の早期発見、早期治療につなげていく。

問 権利擁護に関する支援としての成年後見制度は、柔軟な運用が難しいという指摘があるが。

答 申立手続が煩雑で時間がかかること、後見人に対する報酬がなくなること、裁判所の許可なく後見人を解任することができないなどの課題があると言われているが、本制度を必要とする方が増えている。成年後見相談会をはじめとした様々な機会を捉え市民に対し理解を図り、利用促進につなげたい。

# 議会報告会を動画で配信します

坂戸市議会では、コロナ禍以前は定例会の報告や市民皆様との意見交換を行うため、会場に市民皆様と議員が集まる形で議会報告会を開催してまいりました。

しかし、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、令和2年度は中止、令和3年度及び令和4年度は対面形式に代えて、動画を作成し配信する形で開催しました。

令和5年5月議会報告会においても、対面形式に代えて、動画を作成し配信する形で議会報告会を開催することといたしましたので、ぜひご覧ください。

動画配信  
開始日

令和5年5月1日から



二次元バーコードまたは  
ホームページ（下記URL）からご覧ください。

<https://www.city.sakado.lg.jp/site/sakadogikai/6199.html>

## 編集後記

第7次坂戸市総合計画が14年度を目標年次とし、新たに策定されました。市議会といたしましても、市民の皆様とともに新たなまちづくりに取り組んでまいりたいと思っています。

3月定例会では、5年度予算をはじめ市民生活に欠くことのできない予算案や条例案等の審議が行われ、可決、成立しました。今後とも市民福祉の向上と開かれた議会を目指し、情報提供と充実した紙面づくりに努めてまいります。

（副委員長記）

## 広報委員会

委員長	小澤 弘
副委員長	野沢 聖子
委員	中村 拓史
委員	武井 誠
委員	宮坂 裕之
委員	平瀬 敬久
委員	友田 雅明
委員	飯田 恵



さかど市議会だよりは古紙を配合した再生紙と環境にやさしい植物油インキを使用しています。